



桜並木学園
つくば市立並木小学校だより

未来へ



NO. 38
令和3年1月26日(火)

春の足音

大寒(20日)を過ぎました。寒中、まさに寒さが厳しい日が続きます。先日は、池どころかプールが全面氷結しました。外の水道の蛇口に、つららのように氷がついた日もありました。風の強い日もあり、グラウンドは、さながら「中央アジア〇〇砂漠」のようになっていました。どんよりとした曇りの日もあります。それでも、休み時間の校庭には元気に遊ぶ子供たちの姿が見られます。頬を紅潮させて教室に戻る表情は、頼もしく感じられます。手洗い、うがい、汗の始末はしっかりと!



そんな中、中庭の紅梅(緋梅というのでしょうか?)が咲き出しました。ほっとする日だまりのある日もあります。そういえば来週は節分(2日)、立春(3日)を迎えます。春は確実に近づいているんですね。

残念ですが…

学年末授業参観は中止とします。

例年は学習発表会のような形で見ていただいていた学年末の授業参観は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、残念ながら中止とします。楽しみにしていただいていた方が多いと思われます。子供たちの成長の様子を見ていただきたかった我々もそうです。1月になってますます心配される状況が続いています。今はとにかく、人が集まることをできるだけ少なくすることが必要だと考えています。その代わりに、授業などの学習の様子、学年担当者からのメッセージ等の動画を配信したいと考えています。先週お知らせしたように、ご意見等がある方はご連絡ください。

4月から、学年担当者からの挨拶もできないままだったこともあり、学年末の授業参観はなんとしても開催したいと考えてきたのでとても残念です。まさに苦渋の判断です。市の成人式など、さらに大きな範囲の式典等はさぞやと思われました。ここで、しっかりと対策をしないと3月18日(木)に予定している継志式(卒業式)にも影響が出るかもしれません。ご理解をいただきたくお願いします。



GIGAスクール構想

「令和の学びのスタンダード」

～学びを止めない。個別最適化された学習へ～



文部科学省が進めています。児童生徒1人に1台、情報端末を使えるようにするという構想のことです。これからの時代を生きる子供たちにとって情報活用能力は学習の基盤とされていて、ICTなどの先端技術等の活用が求められてますが、学校のICT環境の整備は遅れていて、自治体間の格差も大きいのが現状です。そのため、全国一律にICT環境を整備して、高速大容量の通信ネットワークと児童生徒1人1台端末を整備しようとするものです。さらに、新型コロナウイルス感染症による影響もあり、通常登校時でも緊急時、休校時でも双方向による学習が行われるように前倒しに整備が進められています。

つくば市でも順次インターネットの回線が強化されて、本校でも今週は、充電保管庫の設置、タブレットの搬入、設定が行われています。つくば市ではこれまでも全国に先駆けて学習用端末を活用してきました。今後は子供たちが自分で端末を管理することになります。インターネット環境のある場所であればどこでも接続ができるようになりますので、やがては自宅に端末を持ち帰って学習に利用することもできるようになります。いずれにしても、使うことが目的ではなく、使って学習に活かすということが大切です。端末は一人ずつに貸与されて、原則個人が6年生まで持ち上がることになります。詳しくは順次お伝えしていきます。

※先日お伝えした「学校評価アンケート」の結果を別紙でお知らせします。
ご協力ありがとうございました。